

団体名	社会福祉法人 奈良いのちの電話協会
活動テーマ	奈良いのちの電話相談員の資質向上 奈良いのちの電話活動の充実



いのちの電話の最も重要な使命は「自殺予防」である。孤独のなかで深い悩みや苦しみを抱える人々の隣人として相談者の声に、24 時間、365 日 1 日も休むことなく耳を傾けて続けている。さらに、いのちの電話の活動として、社会のなかであって、人間関係がうまく結ばず孤独感や絶望感を持ち、ときには希死念慮を抱き苦しむ、葛藤状態にある人たちに対し、電話を通しその危機を克服して生きる力を取り戻すよう援助することである。

警察庁の統計によると、2012 年には 15 年振りに 3 万人を下回り現在も減少にあるが、日夜かかってくる相談電話の本数は減ることなく、むしろ、その内容は深刻化している。

奈良いのちの電話協会では、これらの問題に対処するための研修システムを構築し、相談者にニーズに応え、可能な限り相談者の心に寄り添えるよう努力している。

具体的には、毎月行っている自主研が重要な研修機会となりその成果も表れている。特に年 4 回義務づけている事例研修は、現場に最も密接にかかわった研修となっており、互いの意見交換や講師のアドバイスから、自らの電話対応に気付くことが多い。

さらに、次の世代を担う相談員を養成するための研修も行っている。ここでは、経験に応じて後輩の相談員を育成するという役割を果たすため、相談員としてのさらなる見識と自覚を付けるための研鑽が必要となってくる。これらの研修課程で得られた経験が、相談電話に生かされ、その結果として相談員の資質の向上と相談活動の充実に繋がっている。